

身近な病気 「気」なる症状

「イマドキはこう治す!!」



渡邊剛 総長

米国の食生活で動脈硬化が進み、「心臓弁膜症」患者が増加している。推定患者数は200万人以上で、手術は年間約2万件行われている。心臓弁膜症で手術を受ける97%が「大動脈弁狭窄症」と「僧帽弁閉鎖不全症」。今回は大動脈弁狭窄症にスポットを当てる。

(医学ジャーナリスト・松井宏夫)

心臓弁膜症 大動脈弁狭窄症

<前編>

杉並区 渡邊剛総長は説明する。

血液は心臓から大動脈を通じて全身に行き渡る。その心臓の出口にある弁が「大動脈弁」で、そこが手術になるのは「大動脈弁狭窄症」が原因である。

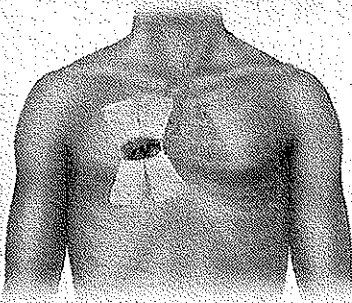
「大動脈弁は3枚の柔らかな葉っぱ、弁尖によってできています。三弁尖です。心臓が収縮すると大動脈弁は開いて血液は全身へ。その柔らかな大動脈弁が、米国的な食生活が災いして動脈硬化が進行すると、弁尖に石灰化が起って硬くなり、弁の開きが不十分になり、血液が十分送り出されなくなります。これが大動脈弁狭窄症です」

弁尖の石灰化で十分に血液が送り出せなくなる

動脈硬化が原因なので、糖尿病のコントロールが悪い人や高血圧の人はよりリスクが高い。このほかに、三弁尖の大動脈弁が先天的に二弁尖の人がいる。この場合は生まれつきの大動脈弁狭窄症。ただ、弁尖が柔らかいと問題は若い年齢で重ねて弁が硬くなると手術になる。

「硬く狭い出口に邪魔されるので、心臓の筋肉にはすごい圧がかかり、心臓の筋肉は防衛のために1センチ2センチの厚さになります。すると心筋には血液が行き渡らなくなり狭心症でもないのに、狭心痛が起ります。胸を締め付けられるような痛みで、これは緊急サインです。これが出ると平均余命は5年です。前立腺肥大症のような夜間頻尿ではなく、比較的尿量のある夜間尿がある」というサインもあります。この段階では、現実を正確に認識し、より早く手術に踏み切るべきです」

大動脈弁置換術の小切開手術 (イメージ図)



手術は①「人工弁置換術(機械弁)」、②「人工弁置換術(生体弁)」、③「患者自身の自己心臓を使用した大動脈弁形成術」、④「TAVI(経

カテーテル大動脈弁治療用する必要があります」

「①②③の手術を行うと脈弁形成術は――「弁尖は心臓を止めて形成の利点は術後に薬を行います。そして、必要としないことに加患者さんの99%は、弁置換の対象にならない人にも最適なことで手術を受けられています」。19歳より小さい大動脈弁の場合は弁置換ではなく、大動脈弁形成術手術を受けられてはならない。また、若い方の場合は生体弁で、また、それぞれは石灰化が早いので形成の手術は、適性を術が良いと思います」

胸が締め付けられる痛みも緊急サイン

「70歳以上の方で、胸が向かない人には薬が半年でやめ、カテーテルを使ってられる生体弁、開胸することなく、また、以下の方、心臓を止めることなく人工弁を装着できるTAVIが適応となる。弁は15年程度しか持ちません。機械弁はずっと使(来週掲載の後編では僧帽弁閉鎖不全症を取り上げます)」